

令和元年度第1回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時：令和元年6月27日（木）
 午後1時30分から
 場所：弥富市 十四山支所第4会議室
 （十四山支所3階）

○議 事

1.開会

事務局 (伊藤課長)	・ただいまから、令和元年度 第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。
---------------	--

2. あいさつ

事務局 (伊藤課長)	・はじめに、安藤弥富市長よりご挨拶をいただく。
安藤市長	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回弥富市地域公共交通活性化協議会にご出席いただきありがとうございます。 ・きんちゃんバスは平成24年4月から本格運行を開始して以来、毎年運行改善に取り組んできている。本協議会においてもご協議いただき、よりよい運行を目指してきた。 ・利用状況については後ほど担当より説明するが、初めて8万人を突破するなど、徐々に増加している状況である。今後も皆様方とともに公共交通確保維持のために協議してまいりたい。 ・本日の議題は、平成30年度の決算報告をはじめ、9議題となっている。そのうち、令和2年度末の弥富市地域公共交通網形成計画の見直しに向けて住民アンケート、シンポジウム、ワークショップの開催などの議題もある。よろしくお願ひしたい。 ・今回新たに委員になられた方もお見えであるが、忌憚のないご意見をお願ひ申し上げ、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

3. 資料確認

事務局 (伊藤課長)	・本日の会議資料の確認をさせていただきます。
事務局 (岡田)	<p>会議資料の確認をする。</p> <p>事前にお送りした資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1：弥富市地域公共交通活性化協議会委員名簿 ・資料2：平成30年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算書 ・資料3：令和2年度地域公共交通確保維持改善計画（案） ・資料4：利用者実態調査について ・資料5：モニタリング調査について

	<ul style="list-style-type: none"> ・資料6-1：住民アンケートについて ・資料6-2：住民意見交換会 ・資料7-1：無料お試し乗車券について ・資料7-2：公共交通シンポジウムについて ・参考資料1：弥富市地域公共交通活性化協議会規約 ・参考資料2：平成31年度弥富市地域公共交通活性化協議会事業計画及び予算 <p>また、本日机の上に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状 ・配席表 ・フラットファイル <p>・法令に基づく協議会と補助金交付要項に基づく協議会との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活発で良い議論ができる会議のために ・きんちゃんバスダイヤ運行表 ・エコモビ推進表彰の団体を募集します <p>不足等あれば、事務局までお願いする。</p> <p>なお、参考資料1の弥富市地域公共交通活性化協議会規約においては、組織の改編により、5ページ目の中段あたりの赤字の部分、愛知県の組織名の変更をしている。</p>
--	---

4. 委員紹介

事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・議題に入る前に、皆様には本日より約2年間、地域公共交通活性化協議会の委員としてお世話になる。委員の委嘱状はお手元に配布している。よろしくお願ひしたい。 ・本日は第1回の会議である。資料1の委員名簿、配席表に基づき、新しく委員になられた方のご紹介をする。 ・区長会長、鯖戸善弘様。
鯖戸委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・たまたま区長会長という立場で声をかけていただいた。在任期間中であるから限られた期間になるが、勉強させていただく。よろしくお願ひする。
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・福寿会会長、早川誠様。
早川委員 (福寿会連合会)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年初めて福寿会のほうでご厄介になっている。任期のある限り務めさせていただきます。よろしくお願ひする。
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・公募委員、山口和博様。
山口委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・今回初めての参加である。一般住民として気がついた点を意見として出したいと思って応募した。できるだけためになるバス運行のために努力したい。よろしくお願ひする。
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の皆様については資料1の名簿、配席表によりご紹介に代えさせていただきます。 ・本日の欠席委員は、民生・児童委員協議会会長福田朝子様、女性の会代

	表、服部三千代様、愛知県海部建設事務所維持管理課長、伊藤明輝様、愛知県蟹江警察署交通課長、大山憲一様、以上4名である。
--	---

5.議題

(1) 役員の選任について

事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議題1、役員の選任についてに入る。 ・ 会長は協議会規約第6条第2項の規定により、安藤市長にお願いする。 ・ 副会長、座長、監事については、協議会規約第6条第3項に「副会長、座長及び監事は委員の中から会長が指名する」と規定されている。会長である安藤市長より役員の指名をお願いする。
安藤市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長から指名するということであるので、私から指名する。 ・ 副会長には、弥富市副市長、大木委員にお願いする。 ・ 座長には、豊田都市交通研究所、山崎委員にお願いする。 ・ 監事には、区長会長の鯖戸委員、女性の会代表の服部委員にお願いする。 ・ ご指名させていただいた委員の方々については今後ともよろしくお願い申し上げます。
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここより議長を座長の山崎委員に交代する。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊田都市交通研究所は豊田市にある愛知県の認可でやっている公益財団法人で、都市交通の研究を専門としている研究機関である。中部運輸局に地域公共交通会議マネージャー会議という名称の制度があり、そこに私は登録して、自治体の公共交通の取り組みのお手伝いをしているということで委員に入らせていただいている。 ・ 最近高齢者の交通事故が増えてきた。ますます車をやめて、公共交通、何らかの手段で足を確保しなければいけないという課題が非常に重要になってきている。弥富のきんちゃんバスはバス網としてしっかりしてきているし、利用者も増えてきている。ただ、もう少し使いやすいものにしていくべきだろうという話があるので、この協議会で今後も協議を進め、よりよいものにしていく必要があると思う。よろしくお願いしたい。

5.議題

(2) 地域公共交通活性化協議会について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日議題がたくさんある。どうも台風になりそうな低気圧が近づいてきているということもあり、きんちゃんバスの東部ルートが3時12分発であるので、3時までには終わりたい。ご協力いただきたい。とは言え、発言すべきことはきちんと発言いただきたい。 ・ 議題(2) 地域公共交通活性化協議会について、愛知運輸支局より説明いただきたい。
小川委員(代理) (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ○資料説明 ・ 「活発で良い議論ができる会議のために」というパンフレットと、「法令に基づく協議会と補助金交付要綱に基づく協議会との関係」の資料でご説明する。 ・ 本日の協議会は、パンフレットで見ると「地域公共交通会議」「法定協議

	<p>会」、これは2つの法律が違う。下のほうに根拠があるが、道路運送法と活性化再生法という法律に基づいてそれぞれ役割が違ってくるが、このような根拠法令に基づいて会議が決められている。この2つの会議を合同で開いていただいている状況である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県内の自治体は今ほとんどこの2つの会議を合同で行っている。詳細についてはパンフレットをごらんいただきたい。ご不明な点があれば別途ご質問いただきたい。 ・「活発で良い議論ができる会議のために」のパンフレットの1枚目を開いていただくと、全国の地域公共交通は危機的な状況にあるということで、バスの利用者はどんどん減ってきている。事業者は採算性が合わなくなってきて経営が非常に苦しい。また人材確保の関係で運転手が不足してきている。それが輪をかけて状況を悪化させている。深刻な状況になっている。 ・そんな中でも高齢化等、住民の方の足を確保するために頑張っているが、この時代、事業者の努力だけでは限界がある。ぜひ地域の方に地域の足を守っていただきたい。そういう意味でこの公共交通会議で議論いただくことになっている。 ・どんな議論をするかということであるが、P.2、運行、ダイヤ、停留所など、利用者にとって使いやすいものにしたい。採算性、合わないと事業が続いていられないので利用者を増やす利用促進の関係。また市全体のネットワーク、バス、タクシー、鉄道、公共交通全般を含めて将来性についても皆さんで議論いただきたい。 ・そうは言っても会議になるといろいろな議題があり、細かい内容の中にはある。委員の方の役割をP.3、P.4にわかりやすく記載している。皆さんの意見を集結し、よりよい公共交通にしていいただきたい。 ・P.5以降は意見交換がしっかりしてきて円滑に進むと、このような循環でよい公共交通になっていく。学識者の方からアドバイスをいただき、最後のページには取り組み事例を紹介している。改めてごらんいただき、ご近所の方にも会合等でご紹介していいただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今説明いただいた冊子は、今の説明だけですべて読み込むことは難しい。家で読んでいただき、疑問な点があれば愛知支局、または私に聞いていただきたい。

5.議題

(3) 平成30年度決算報告について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ここから協議事項になる。平成30年度決算報告について、資料2を使って事務局から説明をお願いする。
事務局 (岡田)	<p>○資料2説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算について、資料2をもとにご報告する。 ・まず決算書について、款・項・目、予算額、決算額の順に報告する。 ・歳入。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1、負担金、予算額9570万円。決算額、9068万1853円。 ・ 4、諸収入。1、預金利子、1、預金利子、予算額、1000円。決算額、2円。2、雑入、1、雑入、542万3000円。決算額、542万3000円。 ・ 合計予算額、1億112万4000円、決算額、9610万4855円となる。 ・ 歳出 ・ 1、総務費、1、総務管理費、1、会議費、予算額、10000円。決算額、0円。 ・ 2、事務局費、予算額、4万円、決算額、6048円。 ・ 2、諸費、1、諸費、542万3000円、決算額、542万3002円。 ・ 2、事業費、1、事業推進費、1、事業推進費、9470万円、決算額、9037万3133円。 ・ 2、広報広聴費、予算額、95万円、決算額、30万2672円。 ・ 3、予備費、1、予備費、1、予備費、予算額、1000円、決算額、0円。 ・ 合計、予算額、1億112万4000円、決算額、9610万4855円となる。 ・ 詳細については備考欄をごらんいただきたい。 ・ 次ページをお願いする。 ・ 裏面のバス運行事業費について、委託契約額8855万9280円より、運賃収入等469万240円と、台風のための減便による1万9107円を引いた8384万9933円が支払額となる。 ・ また次ページには、これまでの各年度のバス運行経費について整理している。 ・ 運行経費は、人件費等により増加する一方で、運賃収入は減少しており、収支率も5.3%とわずかに減少している。 ・ なお、年間利用者数は増加傾向を維持しており、8万人を超えていることから、無料で利用できる75歳以上の方の利用増による運賃収入の減少が一因であると考えている。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度の会計決算報告であった。事前に監査をしていただいている鯖戸区長会長に報告をお願いする。
鯖戸委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のページに資料を添えさせていただいた。 ・ 監査について、服部監事とともに監査をさせていただいた。帳票類、関係の書類等、すべてにおいて適正に執行されていることが確認され、決算書類について誤りがないことが認められた。ここにご報告させていただく。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ただいま報告があった平成30年度事業決算報告に関して、ご質問等があればお願いする。よろしいだろうか。 ・ 公募で市民代表の初めて今日参加された方々に認識しておいていただきたいのが、平成30年度コミュニティバス運行事業費にある数字である。バスを運行するには8800万かかっている。 ・ ただいまの決算報告に関してご審議いただきたい。承認いただける方は挙手をお願いする。
委員一同	(異議なし)《承認》

山崎議長	・ 全員賛成いただいたので、承認された。
------	----------------------

5.議題

(4) 令和2年度地域公共交通確保維持改善計画案について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度地域公共交通確保維持改善計画案について。 ・ 令和2年という言葉は違和感があるかもしれない。確保維持改善計画は10月を頭とする年度になっている。令和元年が始まってすぐなのだが、令和2年度の計画をここで審議いただくことになる。 ・ 事務局から説明をお願いする。
事務局 (岡田)	<p>○資料3 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度地域公共交通確保維持改善計画案について、資料3をもとにご説明する。 ・ 一定の要件を満たし、この「地域公共交通確保維持改善計画」に位置づけられた路線については、「地域公共交通確保維持改善事業」の運行補助を受けることが可能となる。 ・ 地域公共交通確保維持改善計画には様々な添付様式・資料があるが、ここでは、計画部分として令和2年度から4年度までの3ヵ年計画を提示している。 ・ なお、確保維持改善計画の計画年度は10月から翌年9月までを1ヵ年としている。 ・ まず、「0. 地域公共交通確保維持改善計画の名称」は「弥富市地域公共交通確保維持改善計画」とする。 ・ 次に「1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性」についてだが、弥富市においては、飛島公共交通バス蟹江線が地域間幹線系統として、蟹江線に接続する東部ルートがフィーダー系統として国庫補助を受けて運行している状況である。 ・ 平成28年に策定した「弥富市地域公共交通網形成計画」に基づき、今後も市内バス運行の改善・充実のため、利用者実態調査やモニタリング調査、ニーズに即したダイヤの見直し等を実施し、高齢者等の移動制約者の交通手段を確保していくため、地域公共交通確保維持事業により地域内フィーダー系統のコミュニティバスを運行し、市民生活と地域を支える持続可能な地域内フィーダー系統としてのコミュニティバスを確保・維持していくことが必要としている。 ・ 次にP.2、「2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果」として、事業の目標では、網形成計画に基づき、2つの目標を掲げている。 ・ また、網形成計画における目標値と本計画における目標値を対比できるように表で整理している。 ・ 1つ目は「総合的満足度の向上」として、利用者アンケートにおける満足度のうち「非常に満足」「やや満足」の割合である。 ・ 表左側の網形成計画では、目標年である令和2年度に50%以上を確保することを目標としているが、昨年度の30年度の実績では53.1%が満足している状況である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・表右側の本計画においては、各年において50%以上を維持することを目標としている。 ・2つ目は「1便当たり乗車人員の向上」となる。 ・表左側の網形成計画では、令和2年度に北部ルートで1便当たり11.8人、南部ルートで8.7人、東部ルートで9.5人を目標としている。 ・この目標値は4月から翌年の3月までを1年度とした場合の値となる。 ・一方、昨年度の30年度の実績では、北部ルートで1便当たり9.8人、南部ルートで8.4人、東部ルートで10.3人であり、東部ルートは目標を上回るペースで利用が増加しているものの、北部ルート、南部ルートにおいては一層の利用促進が必要な状況となっている。 ・表右側の本計画では、令和4年度において、北部ルートで1便当たり13人、南部ルートで8.7人、東部ルートで12人を目標としている。 ・この目標値は10月から翌年の9月を1年度とした場合の値となる。 ・一方、昨年度の30年度の実績では、北部ルートで1便当たり9.1人、南部ルートで8.6人、東部ルートで9.8人となっている。 ・また、「事業の効果」としては、満足度及び1便当たり乗車人員数の向上により、コミュニティバスの運行を維持することが可能となり、高齢者等の通院や買い物等の市民の日常生活に必要な移動手段が確保され、高齢者等の外出が促進される。また、市内鉄道との接続により、名古屋方面をはじめとした通勤・通学や買い物に対応する公共交通ネットワークを構築することができ、車に過度に依存しない社会の構築にも繋がるとしている。 ・次にP.3、「3. 2の目標を達するために行う事業及びその実施主体」について、先ほどの2.でご説明した目標を達成するための事業として、網形成計画をもとに実際に取り組んでいる内容を記載している。 ・総合的満足度の向上の目標に対しては「サイクル&バスライド駐輪場の設置継続」「乗務員研修の実施」、1便当たり乗車人員の向上に対しては「75歳以上への無料パスカードの配布を継続」「定期券、回数券、シルバーパス等の販売を継続」「健康フェスタや春まつり等、イベントの場を活用したきんちゃんバスの周知活動の展開」「無料お試し乗車券の配布」としている。 ・次に「4.地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行システムの概要及び運行予定者」について、現在のシステムの概要や時刻、運行事業者の決定方法について記載している。 ・次に「5.地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者」は弥富市となっており、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。 ・次にP.4、「6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称」は、三重交通株式会社となる。 ・次に7～11について、弥富市は「該当なし」となっている。 ・次に、「12.地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要」について
--	---

	<p>も所定の様式に従い、別途整理しているが、ここでは説明を割愛させていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、13 から 16 について、弥富市は「該当なし」となっている。 ・次に P.5、「17.協議会の開催状況と主な議論」として、平成 31 補助年度の協議会開催状況と、今回の協議会開催について記載している。 ・中段の第 4 回公共交通会議のところで、「平成 30 年 4 月ダイヤ改正について報告」とあるが、「30 年」を「31 年」と訂正をお願いしたい。 ・次に「18. 利用者等の意見の反映」については、協議会構成員に住民又は利用者の代表が参加していることや、利用者アンケートを実施した上で、改善策を検討協議していることを記載している。 ・最後に「19. 協議会メンバーの構成」として本協議会の構成員を記載している。 ・本計画については、現在も運輸支局と記載内容について調整を続けており、この会議の場では概ねの記載内容の確認と、今後、計画提出までの調整を事務局に一任していただきたく、ご審議をお願いしたい。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまの説明について、ご意見、ご質問があればお願いしたい。
小川委員（代理） （愛知運輸支局）	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の内容が、国の様式の関係で変更がギリギリになっていてご迷惑をおかけしている。お詫び申し上げます。 ・この事業計画に関して、昨年12月に自己評価をさせていただいていると思う。その自己評価に対して中部運輸局で2次評価ということで、助言的な内容のものを通知させていただいている。それもこの事業計画に反映させていただくということも含めて、この場で皆さんにご紹介していただき、それを踏まえてこの事業計画ができていくという流れでご説明いただくとよりよい計画になると思う。次回、来年度になると思うが、添付資料を追加していただくということでご検討いただきたい。 ・質問だが、P.2の2ポツの「総合的満足度の向上」のところで、目標値が50%以上に対して、既に達成されているということで、これは昨年度も私どもから質問させていただいている。これは網形成計画に合わせているということで、実際に低い目標値のまま据え置くという説明であったと思うが、それに縛られる必要はないと思う。高い目標を持っていただいたほうが、住民の方も含めて皆さん頑張れると思う。ご検討いただきたい。来年度、網形成計画を再度作成されるとお聞きしている。そのあたりの反映もしっかり調整いただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・2点ご指摘があったが、いかがだろうか。
事務局 （伊藤課長）	<ul style="list-style-type: none"> ・添付資料についても検討したい。 ・目標についても相談しながら検討させていただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書の提出の締め切りは明日か。
事務局 （伊藤課長）	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・そうなると、目標値は？

事務局 (伊藤課長)	・今後の網形成計画においてである。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回はこれで行くということである。 ・確保維持改善計画は、きんちゃんバスはこの協議会でこういう計画を立てて頑張っていくので補助金をくださいという補助金の申請の一環である。補助金をもらうためにやっているわけではないが、頑張ってきてちゃんと計画を立ててやっているということを示していく必要がある。それに対して国のほうで評価する。当然国は国庫から事業者に補助金を出すので評価がある。評価された結果をきちんとこの会で報告してほしいというご指摘である。 ・今年度、三者評価会議の対象になる。厳しいことを言われるかもしれないが、その結果をこの会で報告していくということである。 ・ほかにはよろしいだろうか。 ・それではご審議いただきたい。この計画案は明日提出ということである。細かいところの修正は支局に相談する中で出てくるかもしれないが、事務局にご一任いただき、承認いただけるだろうか。承認いただける方は挙手をお願いします。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	・全員賛成いただいたので、承認された。事務局のほうで手続きを進めていただきたい。

5.議題

(5) 利用者実態調査について

山崎議長	・利用者実態調査について、今年度実施していく調査の内容に関してご審議いただく。資料4を使い、事務局から説明をお願いします。
事務局 (岡田)	<p>○資料4説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者実態調査について資料4をもとにご説明する。 ・地域公共交通網形成計画見直しのほか、確保維持改善計画の検討や改善内容検討のための基礎資料とするため、昨年度に引き続き、今年度においても利用者実態調査として、乗車人員調査及びOD調査を実施する。 ・「乗車人員調査」については、運行期間中、毎日、乗車人数を調査する。 ・「OD調査」については、10月上旬ごろに月曜日から土曜日までの1週間実施する予定である。 ・具体的な期間については、運行事業者である三重交通と現在調整中となっている。 ・P.2以降では、参考に平成25年度から平成30年度の乗車人員の推移を整理している。 ・年度別に線の色分けしており、赤色の線が昨年平成30年度の値となっている。 ・平成30年度の総乗車人員は8万708人と増加傾向を維持している。 ・P.3にはルート別に乗車人員の推移を示している。 ・また、P.4では、上側の表で、4月から翌年3月期における1日平均乗車

	<p>人員、下側の表で1便あたり平均乗車人員を年度別に整理している。</p> <ul style="list-style-type: none"> • これを見ると、1日平均乗車人員、1便あたり平均乗車人員ともに、前年度よりも北部ルート、東部ルートで増加し、南部ルートで減少していることがわかる。 • P.5には確保維持改善事業の事業年度に合わせ、10月からと翌年9月期において整理した表となっている。 • 次のページからは、今年度のOD調査票のサンプルとなっている。 • 内容は昨年度と同じとなっており、利用目的を「行き」「帰り」別に分かるようにしている。 • なお、実際の調査票はシール形式となっており、選択肢のシールを剥がして、右側の太枠の中の破線の回答欄に貼っていただく形にしている。 • これまでも同様の方法を取っており、毎年90%以上の高い回収率を維持しているので、今年度も同様の方法を取らせていただきたい。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> • 利用者実態調査について、今年度実施する調査、参考としてこれまでのルート別、期間別利用状況のデータ、グラフを説明いただいた。ご意見、ご質問があればお願いしたい。
鯖戸委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> • 初めてでわからないことがある。教えていただきたい。今始まって30分ぐらいで、開かれて前向きに議論される会ということで素晴らしいという印象を持っている。 • 自分自身利用をしていないのでわからないのだが、今日いただいた運行ダイヤと見比べると、恐らく朝の早い時間に南部ルートを走っていて、近鉄弥富駅に向かっていくのは通学や、川崎重工に向かってくるのは通勤用だと思う。それは帰りもある。ほかの時間帯は、病院、福祉センター、買い物に行くということで利用用途が違うと思う。それを見比べた場合の利用の割合を教えていただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> • 利用目的ということか。
鯖戸委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> • 人数の利用の割合である。
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> • 利用目的をそれぞれのルートごとにシールのほうで記載していただき、これをこちらで整理分析して、次の報告をさせていただき参考資料として収集している。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> • 毎年こういう形で調査をやっているのか。去年や今までの状況からすぐ出せる資料はあるか。南部ルートは通勤・通学利用が多いとか。
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> • 大変申し訳ないが、今手元にない。次回お知らせさせていただきたい。
鯖戸委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> • そのあたりも会議をしていく中で改善しながら得られたところという評価をしたいと思ったので、実態を聞きたかった。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> • 今、口頭で言える資料はないか。
事務局 (山中)	<ul style="list-style-type: none"> • 路線の利用目的についてだが、南部ルートは多少通勤・通学需要があるが、全体としては病院、総合福祉センター目的の利用が非常に多くなっ

	<p>ている。全体の7割から8割が高齢者の利用になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用の時間帯も総合福祉センターや病院の時間に合わせた時間帯が多い。以前は朝早い通勤・通学に合わせた運行を多くしていたが、利用が少なかったため、現在は特に南部ルート、東部ルートは9時以降の時間帯の運行に見直してきた経緯がある。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回利用乗降調査はシールを剥がして貼って回答していただくので、いい精度で調査ができる。この結果の報告のときに合わせて詳細な報告をさせていただきます。
山口委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・せっかくいいバスが走っているにも関わらず、私は南部に住んでいるが、大きなバスが空で運行されているのは目立つ。せっかく走らせてもらっている以上、もっと利用できるような方法を考えていただいたらどうかと日ごろから思っている。 ・近所の高校生も家の前を通って、木曾岬さんのバスを利用されていると思う。私は木曾岬で働いていて、マイクロバスが通っているのを見ている、通勤・通学時間帯、朝の早い時間帯にたくさん乗っているのを見ていて、弥富市はなんでもったいないことをやっているのかと痛感していた。弥富市としてどのように考えているのか。
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的なことになるかと思うが、南部ルートについて、確かに通学・通勤で使われている方が一番メインになっているかと思う。日中にご利用される方が使われていないという状況の中で、今後、ルート、バスの形態などについて議論して皆さんと考えていきたいと思っている。 ・今回、シンポジウム、ワークショップを開催し、よりよい運行方法について市民の皆さんと協働で考えていきたいと考えている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・通学で使われるようなバスは少し大きめの車両を使うことがある。それが昼間は利用者が少なくてガラガラで走っているという話は弥富だけでなくいろいろな地域である。昼間の利用促進が課題になっている。 ・利用促進について、市はどうするのかではなく、市民自ら考えていく必要があるというところが大事なところである。 ・山口委員はきんちゃんバスに乗られたことはあるか。
山口委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・私自身はない。母が元気なころはいこいの里や総合福祉センターにバスを使っていた。今認知症でほとんど自分で行動できないので利用していない。元気なころは毎日のように利用していた。それを見ていて、もったいないと思った。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に使っていた方がいらっしゃるということか。ぜひ一度乗っていただきたい。 ・ほかにいかがだろうか。
児玉委員(代理) (愛知県)	<ul style="list-style-type: none"> ・鯖戸委員から話があったことに追加でご質問する。29年度の実績と30年度の実績を比較すると、全体に利用者は伸びて、運賃の収入は下がっている。これは75歳以上の無料で使われている方が増えていると思われるが、高齢者の方がどれぐらいいらっしゃったか今わかれば教えていただきたい。わからなければ次回報告いただきたい。

山崎議長	・高齢者の利用割合についてだが。
事務局 (岡田)	・バスの場合、7～8割が高齢者の割合になっている。全体の人数は今手元に資料がない。次回までに用意する。
山崎議長	・ご指摘のとおり、利用者は増えているが収入が減っている。無料で乗られる高齢者が増えているところがあるのではないかとこの考察を事務局でもしている。正確な数字は次回報告いただきたい。
佐野委員 (公募委員)	・伸びていることは嬉しい。 ・若い方は車を運転されるが、ルートが弥富駅に行くにしてもぐるぐる回るので、これが一番の問題点である。もう少し短く行けないかと皆さん言われる。バスを増やすとお金がかかる。そういうところに問題があるから、経費を抑えて、もう少し早く行くことができるようにしていただけたらもっと皆さん利用されるのではないかと。
事務局 (伊藤課長)	・非常に悩ましいところではあるが、バス停の数や路線の協議を皆さんとしていかなければならないと考えている。
山崎議長	・佐野委員は3年目で、ずいぶん理解している上でご指摘されていることかと思う。なかなか難しいところがある。いろいろな地域を拾わなければいけないという性格もこのバスにはある。そういったことも含めて、今年度住民の方々と、この後の議題になるが、モニタリング調査にも関わってくるかと思う。今年度しっかり皆さんの意見を集めて新しいもの、よりよいものに改善していく努力が必要だと思う。 ・議題5の利用実態調査については、今年度もバス停間の利用状況調査を実施するというので、調査の内容としてはこれまでと同様、シールを使って調査をしていくということである。この調査に関してご審議いただきたい。細かい修正は事務局に一任いただいて、調査を実施していくことについて承認いただける方は挙手をお願いします。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	・事務局のほうで進めていただきたい。 ・先ほど意見があったように、過年度との比較をこの協議会に出していただくということをお願いする。

5.議題

(6) モニタリング調査について

山崎議長	・モニタリング調査について、事務局から資料の説明をお願いします。
事務局 (岡田)	○資料5説明 ・モニタリング調査について、資料5をもとにご説明する。 ・先ほどの利用実態調査同様に、今年度においてもモニタリング調査として、きんちゃんバス利用者を対象としたアンケート調査を実施する。 ・調査は、きんちゃんバス利用者500名に配布する予定である。 ・実施時期は、10月中旬ごろに実施する予定である。 ・具体的な配布期間については、運行事業者である三重交通と現在調整中となっている。 ・内容を次のページより整理している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「きんちゃんバスに関するアンケート調査、ご協力をお願いします！」と書いてある裏表1枚が頭紙となっており、裏面に、啓発や利用促進を兼ねて、お得な情報やサイクル&バスライド駐輪場の情報を記載している。 ・また、この紙は対象者の手元に残るように、アンケート票とは別に分けて印刷する。 ・次のページからアンケートの内容となっている。 ・右上に「利用者アンケート票」と小さく書いてあるアンケートをご覧いただきたい。 ・アンケートは問1～11までの設問で構成しており、昨年度実施した調査とほぼ同様の内容となっている。 ・P.1では問1で対象者の属性を把握する。 ・問2で利用ルート、問3で利用頻度、問4で利用目的を把握する。 ・次のページ、問5では割引制度の利用状況、問6ではきんちゃんバスの満足度を把握するものとなっており、不満な理由についても書いていただく内容となっている。 ・この問6の回答結果は、網形成計画や確保維持改善事業の目標として掲げている「総合的満足度の向上」の評価指標として活用するものである。 ・問7では、サイクル&バスライド駐輪場の認知度や利用状況を把握する設問となっている。 ・次のページ、問8では、きんちゃんバスの利用頻度の変化について把握する。 ・問9では、東部ルートの「善太橋西」と「亀ヶ地」バス停における、飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎ状況や評価を把握する。 ・次のページ、問10では自宅とバス停との距離関係を、問11では市の費用負担と利便性の関係の意向について把握する。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対する調査である。先ほどの利用実態は利用者の方がそれぞれどこから乗ってどこに行くかという実態の調査であった。こちらは意識調査も含めてどうお考えか、満足度も聞いていくというものである。 ・ご意見、ご質問があればお願いします。
鯖戸委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・意見の分かれるところかと思うが、P.4の問10、「今後のきんちゃんバスについてお尋ねします。きんちゃんバスを運行するのに多くの費用を市が負担しています」。これはそのとおりだと思う。こう書くのがいいのか、金額も書いてしまうほうがいいのか。それだけ負担してやっているということを痛みとして感じてほしい。厳しい中でやっているところを訴えていくためにどうしたらいいのか。議論するところだと思う。
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、金額を載せたほうがいいのではないかという同様の意見を頂戴したが、現状となっている。
鯖戸委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・そこまで記載する必要はないという意見があってそうなったのか。
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな行政側の考え方もあるだろう。私もいろいろな市町で関わってアンケートを作ったりしているが、実際に金額を入れてやりたいと言われる市もあるし、金額を出すのはちょっとというような姿勢もある。いろいろである。 ・ほかにいかがだろうか。よろしいだろうか。 ・先ほどのバス停間OD調査、OD調査というのは出発のバス停と到着のバス停の調査のことだが、OD調査と合わせて10月に実施ということは、最終的な調査票を確定する時期はいつになるのか。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・7月末には確定したい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ少し時間があるが、今日この会議でモニタリング調査を実施することの承認はしていただいた上で、その後、もし何か調査票に対して意見があれば受け付けるということによりだろうか。7月末までに確定できればということである。 ・修正するかどうかの判断は事務局一任で、私も相談に入っていく。 ・モニタリング調査の実施に関して、内容に関してはベースはこれで、もし意見があれば7月中であれば事務局で受け付ける。それを私も含めて事務局で検討し、反映させるかどうかはこちらにお任せいただくということでご承認いただける方は挙手をお願いします。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・全員挙手いただいた。そのように進めていきたい。

5.議題

(7) 住民意向等の把握について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題7、住民意向等の把握について、住民アンケートと住民意見交換会、2つある。資料の説明をお願いします。
事務局 (岡田)	<p>○資料6-1説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民意向等の把握について、まず、資料6-1の住民アンケート調査についてご説明する。 ・網形成計画の基礎資料とするために住民アンケート調査を実施する。 ・アンケート票は、市内在住の15歳以上から無作為抽出をした2000名の方に配布する予定である。 ・実施時期としては、8月ごろに、郵送配布、郵送回収で実施する予定である。 ・アンケートの回収必要数については、「地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画作成のための手引き」におけるサンプル数の算定式をもとに検証すると、市全体で集計する場合は19%、小学校区別で集計する場合においても約38%の回収が必要となる。 ・次のページの下部に過去の住民アンケートの実績を整理しているが、平均で約48%、最低でも約40%の回収率となっており、2000部を配布することで、概ねの必要数は確保できると考えている。 ・次にアンケート内容について説明する。

- ・ P.3、アンケートの概要を整理している。
- ・ アンケートは全部で22の設問で構成している。
- ・ 問1から4では外出の目的別に交通手段や利用施設などの普段の交通行動を把握する。
- ・ 問5から8では、きんちゃんバスの利用状況や利用意向、問9ではバスで行ってみたい施設、問10、11では施策の評価を把握する。
- ・ 問12や13では今後の運行に関することや運行していることで感じていることを把握し、問14で満足度を把握する。
- ・ 問15から17では、再編を見据え、デマンド運行に関する意向を把握する。
- ・ 問18以降では回答者の属性などを把握する。
- ・ 具体的内容としては、次のページにおいて、先ほどの利用者アンケートと同様にお願いの文書、次の右上に「住民アンケート」と書いてあるページからがアンケート票となっている。
- ・ 問1は通勤・通学目的の場合となっており、主な曜日、利用交通機関、出発、帰宅時刻、目的地を把握する内容となっている。
- ・ 同様に、P.2の問2では通院目的、次の問3では公共施設利用、問4では買い物での外出に関して把握する。
- ・ P.5の問5では各ルートの利用状況をお聞きし、利用状況に応じて、問6や次の問7、8で今後の利用意向等を把握する。
- ・ 問9では、潜在的な需要も把握するため、バスで行きたい、行ってみたい市内の主要な施設を把握する。
- ・ また、P.9、問13では、きんちゃんバスが運行していることで感じることを、利用者だけでなく、未利用者にとってのきんちゃんバスの役割を把握する設問を設けている。
- ・ 問14においては、全12の項目について満足度を5段階評価で把握する。
- ・ P.10の上段では、デマンド運行の概要や長所、短所を例示した上で、問15で、デマンド運行と現在のきんちゃんバスとの比較をいただき、問16、問17でその理由を把握する。
- ・ 問19以降では、運転免許返納意思や返納した場合の交通手段、問21で自由に使える車やバイクの保有状況、問22で個人属性を把握する。
- ・ 以上が住民アンケートの内容である。

○資料6-2説明

- ・ 次に、資料6-2の住民意見交換会についてご説明する。
- ・ 網形成計画見直しの基礎資料とするために住民意見交換会を開催する。
- ・ 対象としては、きんちゃんバスの各ルートに応じ3つの地区に区分し、一般市民のほか、区長会、民生・児童委員、福寿会、女性の会、PTAなど各団体の代表や高校生、愛知大学学生などにご参画いただくことを考えている。
- ・ 愛知大学学生においては、弥富市と愛知大学では、産業、文化、福祉、教育などの分野で相互に協力し、協働のまちづくりを推進するとともに、

	<p>大学における教育・研究および地域社会の発展と優れた人材の育成に寄与することを目的に、大学と相互に連携を行っており、その一環で参画していただくことを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会の方法としては、ルート別にワークショップ形式で、住民相互に意見交換をしていただく。 ・内容案としては、各地区それぞれ2回ずつの開催を予定しており、第1回では、1)公共交通の現状を知ろう！、2)公共交通の役割を考えよう！、3)将来の公共交通の課題を考えよう！、4)意見をみんなで共有しよう！の4つの項目を考えている。 ・第2回では、1)第1回の復習をしよう！、2)公共交通に乗った感想を話そう！、3)公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設をまとめよう！、4)意見をみんなで共有しよう！の4つの項目を考えている。 ・このうち、2)公共交通に乗った感想を話そう！においては、第1回の終了時、もしくは第2回の開催案内時に、メンバーの皆さまにきんちゃんバスの利用券等をお渡しし、実際に利用していただいた上で話し合いをしていただくことを考えている。 ・委員の皆様には、もっとこんなことを把握してはどうか、こんなことを議論していただければどうかなど、ご意見をいただきたい。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・住民意向の把握ということで、アンケート調査と、初めての試みである意見交換会を開く。 ・ご意見、ご質問はいかがだろうか。
小川委員（代理） （愛知運輸支局）	<ul style="list-style-type: none"> ・住民アンケートのP.10、きんちゃんバスとデマンド運行のアンケートを取るとのことだが、デマンド運行の説明がこれだけしか書いていない。これでデマンド運行のイメージが湧くだろうか。バスとタクシーの間というか、相乗り、いろいろな人が一緒に乗れるのだが、車両はタクシー車両のような小さな車になる。 ・ここに書いてあることだけを見ると比較的メリットが大きいと思えるが、デマンド運行にはいろいろな落とし穴がある。実際に利用者が減っていく可能性もある。ほかの交通事業者との関係もある。これが便利だからと利用してしまうと、タクシーやバスを利用しなくなったりということも考えられる。 ・これだけを見ると、こんなにいいものがあるのかというイメージを持ちかねないという不安がある。アンケートでいきなりというよりは、段階を追って、住民の意見交換会でデマンド運行をご紹介するなど、少しずつこの話をしていくほうがよいのではないかと。唐突すぎると思う。
事務局 （伊藤課長）	<ul style="list-style-type: none"> ・3、4年前にデマンドについてこの協議会の中でも協議した。当時、タクシー事業者やバスの運行事業者との兼ね合いを含めて協議した結果、なくなったという経緯がある。しかし、引き続きそういう声がある。今回のアンケートで載せたらどうかということでもう一度載せさせていただいた。
小川委員（代理）	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドの声というのは？

(愛知運輸支局)	
事務局 (伊藤課長)	・さまざまな住民の声である。
小川委員(代理) (愛知運輸支局)	・説明として、いきなりここに入ってくると、要望されている方はわかっていると思うが、その方がすべてわかっているかどうか分からないが、デマンド運行のいいところだけを捉えているかもしれない。そこはしっかり説明するとか、こういう場で私も含めて代表の方にご説明していきたい。もう少し順を追って段階的に周知をされたほうがよいのではないか。
山崎議長	・確かに事前にこれを見せていただいた中では、以前の議論もあったということもあったが、このアンケートをざっと頭から見ていくと唐突すぎるのではないかと思った。検討したほうがよい。住民アンケートに出すか、あるいは意見交換会の中でのネタにしていくべきかもしれない。
服部委員 (名古屋市港西 臨港地帯企業連 絡協議会)	・問15、デマンド運行と現在のきんちゃんバスの運行で1つだけ丸と書いてある。1つだけ丸というのはそんなに単純ではないと思う。「デマンド運行がよいと思う」というと、答えはなかなか難しい。自分の考えを1つだけ選ぶことで表現できるのか疑問に思う。
山崎議長	・ほかの方はデマンド運行に関する部分についていかがだろうか。 ・福寿会の早川委員はどう思われるか。
早川委員 (福寿会連合会)	・デマンドもいいと思うが、その以前に、ここの中でうたうのはいかがなものかと私も思わないでもないが、これをうたってしまうと、逆に今のきんちゃんバスの運行を切り替えるのではないかと、そちらのほうへの意向があるのではないかとというような問いかけにもなるのではないかと気がしないでもない。 ・きんちゃんバスをこのままの運行形態で行くとすれば、これは除外したほうがよいのではないか。
山崎議長	・回答者がそのように勘ぐってしまう。市はこういうことをやるのかと見てしまうというところがあるということである。
事務局 (伊藤課長)	・慎重にしていきたいと思う。
児玉委員(代理) (愛知県)	・デマンド運行について1つ質問だが、事務局からデマンド運行を再度議論したいということでお示しいただいたが、事務局としてデマンド運行を想定されている地域はお持ちなのか。例えば南部エリアでやってみたいとか、東部エリアでやってみたいとか、そういったところでお持ちだと思う。タクシーの利用では駄目なのか、デマンド運行する場合にどういった問題があるのか名古屋タクシー協会とも話をしていただきたい。運行事業者である三重交通ともヒアリングを重ねて、よりよい交通方法を検討していただきたい。
山崎議長	・タクシー協会はいかがだろうか。
伊藤委員(代理) (名古屋近鉄タ	・私はいろいろな地域でデマンドの話に参加させていただいている。厳しい言い方だが、劇薬的なデマンドもある。この取り扱いは慎重にやらな

クシー)	いと、タクシー業者だけで取れば税金で賄っていただいていることはないのだが、それに対してバスの利用が減り、バスをやめるという本末転倒の部分もある。ある程度の制限をかけながら、どの程度の制限をかけるのか、どの程度のところで市民の方に我慢していただくのかということも慎重に考えないと安定した継続の運行は難しいと考えている。
山崎議長	・三重交通からもコメントをいただきたい。
小黒委員 (三重交通)	・デマンドはここ以外の場所でも話が出るが、1つのエリアで幹線をバスが走り、そのバスが回れない場所、枝の部分でデマンドの小さい車両が回るというのが基本的なイメージだと思う。弥富市でもそれをすべてという感覚ではないと思うが、うまく共存できるいい方法があれば協議したい。
山崎議長	・いろいろ意見を踏まえると、今回のアンケート調査ではこの協議会としてはデマンドの話を出すべきではない、説明不足ということである。 ・アンケート調査は8月ごろ実施とある。調査票について追加で皆さんの意見をいただく時間はないか。
事務局 (岡田)	・実施時期の8月を調整すれば時間はある。
山崎議長	・あまり後ろに延ばしてもしわ寄せが行ってしまう。デマンドはアンケートには出さないということで、ほかの部分で細かいところがあれば7月第1週ぐらいまでに意見を事務局に寄せていただきたい。 ・ベースはこのアンケート調査票ということで承認いただける方は挙手をお願いします。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	・もう1つ、住民意見交換会に関して意見が出てこなかったが、意見交換会の中でデマンドについても皆さんに勉強していただきながら意見をいただくということである。 ・3地区で2回ずつやるということで事務局は大変だと思うが、住民意見交換会をこのような形で実施することに関して、内容はもう少し詰めていく必要があるが、ご意見をいただきたい。 ・開催は10月以降である。 ・中身に関しては報告していく機会はあるということである。 ・実施するという点に関して承認いただける方は挙手をお願いします。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	・では、準備を進めていただく。

5.議題

(8) 利用促進策について

山崎議長	・8番目、利用促進策について、無料お試し乗車券、公共交通シンポジウムに関して資料の説明をお願いします。
事務局 (岡田)	○資料7-1説明 ・利用促進策について、まず資料7-1の無料お試し乗車券についてご説明する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで8回にわたり実施し、利用者増の効果が認められた無料お試し乗車券の配布について、今年度も実施する。 ・配布対象は昨年度と同様に、市内全世帯に加え、小学生にも配布することを考えている。 ・昨年度は、利用可能期間を8月の1ヶ月間としていたが、昨年度の猛暑の際に、8月の一番暑い時期だけではなく、もう少し利用期間を延ばしてはどうかという意見もあったので検討している。 ・また、先ほどの資料4、利用実態調査についてのP.2のグラフを見ると例年9月には利用が落ち込むことが多くなっていることから、この底上げも目的として、今年度は8月と9月の2ヶ月間を利用可能期間としたいと考えている。 ・おもて面では啓発を目的とした文言を記載し、うら面には簡単なアンケートを記載して、回答を無料乗車の利用条件としている。 ・アンケートの内容については、例年と同じ内容になっており、問2と3で、新規利用者数を把握するものとなっている。 <p>○資料7-2説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次に、資料7-2の公共交通シンポジウムについてご説明する。 ・公共交通の置かれた現状を認識し、今後の弥富市地域公共交通網形成計画見直しに向けた啓発を図ることを目的に、弥富市民の方を対象に公共交通シンポジウムを開催する。 ・開催時期は、10月12日土曜日、弥富市総合社会教育センター、中央公民館の公民館ホールで予定している。 ・内容は現在検討中となっているが、きんちゃんバスのこれまでの歴史や、本協議会の議長であります山崎先生による講演などを検討している。 ・内容が決まり次第、広報のほか、委員の皆さまにもお知らせする。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・無料お試し乗車券、公共交通シンポジウムに関して、ご意見、ご質問をお願いしたい。 ・無料お試し乗車券は9回目ということで継続してやっている。3枚つける。奇数にしているということで、1回はその後料金を払ってくださる方もいるといいという思いもある。 ・今までは8月だけであったが、今回は9月まで利用期間を設けるということである。 ・無料で乗るからにはアンケートに答えるということでうら面にアンケートがある。実態を集計して、今までの状況と比較するということである。
児玉委員（代理） （愛知県）	<ul style="list-style-type: none"> ・お得な切符無料乗車券だが、どんな方が利用されているかというのは、資料をお示しいただいていたか。
事務局 （岡田）	<ul style="list-style-type: none"> ・この結果については、例年、第2回の協議会でご報告している。
児玉委員（代理）	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が多いのか、高齢者が多いのか。

(愛知県)	
事務局 (岡田)	・利用は、高齢者と一般の方が3分の1ずつになっている。高校生、中学生、小学生が残りとなっている。
児玉委員（代理） (愛知県)	・3分の1ずつ大体平均しているという理解でいいと思うが、「車の運転免許をお持ちですか」ということを小中学生に聞いても仕方がない。 ・住民アンケート調査で大規模に実施するので、ここで聞く内容は少し整理したほうがよいのではないか。同じことを聞いても仕方がない。ここでしか聞けないことを聞く。具体的に提案できないが、そこを整理されるとよいのではないか。
山崎議長	・これは広報に折り込むのか。どんなスケジュールか。
事務局 (岡田)	・7月中旬の広報で全戸配布を検討している。
山崎議長	・もう印刷に入っているのか。
事務局 (岡田)	・印刷に入りたいと思っている。変更点がある場合、対応は難しい。
山崎議長	・アンケートに関して、ボリュームが大きいと思うところもあるが、過去のものと比較していくということを考えると、これまで聞いてきた内容に合わせていくことも大事だと思う。事務局に一任いただきたい。 ・公共交通シンポジウムは私がこの会議で話しているようなことをたくさんの人たちに聞いてもらうということを考えている。シンポジウムとは言っているが、講演会的な、勉強会、講習会のような形で、規模を大きく市民対象の会という形で事務局で考えているということである。ご意見はよろしいだろうか。 ・無料お試し乗車券の実施内容と、シンポジウムに関しては10月であるので、内容を詰めてまた報告していくということであるが、開催するというに関してご承認いただける方は挙手をお願いする。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	・事務局のほうでしっかり準備を進めていただきたい。

5.議題

(9) その他

山崎議長	・議題(9)その他について、事務局から何かあるか。
事務局 (伊藤課長)	・特にない。
山崎議長	・愛知県からエコモビ推進表彰の説明をお願いする。
児玉委員（代理） (愛知県)	・お手元に配布したエコモビ推進表彰のチラシをごらんいただきたい。 ・愛知県では、車と公共交通、自転車、徒歩などを賢く使い分けるライフスタイルとしてエコモビリティライフを県民運動として推進しているところである。 ・この取り組みの一環として、エコモビ推進のための取り組み、活動を積極的かつ効果的に行っている団体を表彰するエコモビ推進表彰を平成24

	<p>年度から実施している。今年度についても既に募集を開始している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコモビ推進の取り組みとは、チラシのおもて面にあるとおり、公共交通の利用促進やマイカー使用の抑制、時差出勤などの環境にやさしい交通行動の実践などを指す。こうした活動を6カ月以上継続して行っている市町村、企業などの団体が表彰の対象である。 ・実際にエコモビの取り組みを行っていたり、実践している団体にお心当たりがあれば、ぜひご応募いただきたい。チラシに記載のある問い合わせ先までご連絡いただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年度、この協議会で応募した。またいろいろあればということをお願いする。 ・ほかによろしいだろうか。 ・ご協力ありがとうございました。時間内に終われそうである。住民代表の方からも一通りご意見をいただいた。 ・これでマイクを事務局にお返しする。
6.閉会	
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項であるが、次回の第2回協議会は10月ごろを予定している。日程が決まり次第お知らせするのでよろしくお願いする。 ・以上をもって、第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を終了する。今後ともご協力賜るようお願い申し上げます。
	以上